

⇒別冊 p.4 ~ 5

解答と解説

解答

(1) ① (2) ③ (3) ②

解説

(1) 第1段落の空所の後には、「人が座ると倒れる椅子」についての記述がある。このような椅子に客を座らせて楽しんでいたということは彼の奇妙な性格を表していると言える。そのことから考えて、正解は1。

選択肢の和訳

- 1 彼の奇妙な性格を表した
- × 2 彼の素晴らしい能力への鍵を示した
- × 3 彼の人生に大きな影響を与えた
- × 4 ピアノの技術を向上させる方法を彼に教えた

(2) この空所の前の、第2段落の第2文に、ブラームスが幸せな人でなかったという記述があり、空所の後で、現実にはどんな不幸があったかについて説明している。したがって、正解は3。このように、in fact は前出の内容をさらに詳しく述べる場合に用いられる。

選択肢の和訳

- × 1 一方で
- × 2 その結果
- 3 実際に
- × 4 それにもかかわらず

(3) この空所を含む文の1つ前の文までが、ブラームスの悲惨な子供時代の説明であり、空所の後で、彼はまともな生活を送れなかったために、よい楽しみ方を見つけられなかったということが述べられている。よって、1は誤り。3・4は文脈に合わない。正解は2。

選択肢の和訳

- × 1 人を喜ばせる方法を学んだ
- 2 よい手本となる人がいなかった
- × 3 成功するのに十分なお金を稼いだ
- × 4 彼の音楽的才能を向上させた

語句

〈タイトル〉

- composer (名) 作曲家
- peculiar (形) 奇妙な
- prank (名) 悪ふざけ, いたづら

〈第1段落〉

- Romantic music period ロマン派音楽時代
- a full head of wildly flowing white hair 無造作に伸びた白髪
- be designed to do ~するよう設計されている
- fall over 倒れる
- fall forward on one's knees 前へひざまずく, ひざをつく

- fall backward 後ろに倒れる
- roar with laughter 大笑いする
- get tricked by ~ ~にだまされる, 一杯食わされる

〈第2段落〉

- tragic (形) 悲惨な
- low-class bar 低級な酒場
- behave crudely 粗野に振る舞う
- resentful (形) 怒りっぽい
- role model (模範となる) 役割モデル, 手本
- decent (形) まともな, きちんとした



第1段落 クラシック音楽の巨匠ブラームスは風変わりで、人を特別な椅子で陥れて笑う性癖があった。

① Johannes Brahms is considered one <of the masters <of classical music>>.

ヨハネス・ブラームスは <<クラシック音楽の>> 巨匠の 1人 と見なされています。

② (In fact), he is often said to be on the same level <as the other “Three Bs” <of the Romantic music period: Beethoven and Bach>>.

(実のところ), 彼はしばしば <<ロマン派音楽時代の、ベートーベンやバッハといった>> ほかの「三大B」と 同じ水準であると言われます。

③ He also has a lot <in common> (with other famous composers <of classical music>): he was born (more than 100 years ago), he was a brilliant piano player, and he had a full head <of wildly flowing white hair>.

彼にはまた <<クラシック音楽の>> ほかの有名な作曲家との <共通点> がたくさんあります。彼は (今から 100 年以上前に) 生まれ、優れたピアノ奏者で、そして <無造作に伸びた白髪で> ふさふさした頭をしていました。

④ There was, (however), one habit <that represented his strange personality>.

(しかしながら), <彼のその風変わりな性格を示す> 1つの性癖がありました。

⑤ He had a chair (in his apartment) <that was designed to fall over (when a person sat (in it))>.

彼は (自分のアパートに) <(人が (それに) 座ると) 倒れてしまうように作られた> 椅子を持っていた。

⑥ He asked someone to build him this special chair <that would either cause his guests to fall forward (on their knees) or make them fall backward>.

彼は <来客が前に倒れて (膝をついて) しまうか、後ろに倒れてしまうであろう> この特別な椅子を作るように人に依頼したのです。

⑦ (According to his friends and his servant), he would roar with laughter (every time someone got tricked (by the chair)).

(彼の友人たちや使用人によると), 彼は (誰かが (その椅子で) 一杯食わされるたびに) 大笑いしていたそうです。

第2段落 悲惨な子供時代を過ごし、手本となる人がいなかったことが、彼の性格に影響したのだろう。

① You might be wondering [why someone would want to do such a thing].

あなたは [人がなぜそんなことをしたいと思うのか] 不思議に思うかもしれません。

② Brahms was a musical genius, but he was not a happy man.

ブラームスは音楽の天才でしたが、幸せな人ではありませんでした。

③ (In fact), he had an unusual and tragic childhood.

(実際), 彼は普通ではない悲惨な子供時代を送りました。

④ He grew up (in poverty), and he had to start playing music (in very low-class bars) (when he was just 12 years old).

彼は (貧困の中で) 育ち、(まだ 12 歳だった時に) (非常に低級な酒場で) 音楽を演奏し始めなければなりません。

⑤ (According to Brahms), the experience ^S <of [being in these bars, <where people were often drunk and behaving crudely>]>, affected ^{V①} him ^{O①} deeply and made ^{V②} him ^{O②} angry and resentful. ^{C②}

注5

(ブラームスによると), <[人々がしばしば酔って粗野に振る舞う], これらの酒場にいた]という>経験が, 彼に大きく影響し, 彼を短気で怒りっぽくしました。

⑥ (Considering this), he ^S (probably) ^V did not have a good role model ^O (in his early life).

注6

(このことを考えると), 彼には (おそらく) (幼い頃に) よい手本となる人がいなかったのでしょうか。

⑦ (If he had had a decent life), he ^S would have found ^V a better way ^O <to entertain himself>.

注7

(もし彼がまともな生活を送っていたら), <楽しむのに> もっとよい方法を見つけていたことでしょう。

注1 consider O C は「O が C であると見なす」という意味だが, 受動態になると O be considered C という形となり, 「O は C であると見なされる」という意味を表すことができる。

注2 コロン (:) は, その前にあるブラームスとほかの作曲家との共通点を具体的に示すために用いられている。A, B and C という形で, 3つの文で共通点が示されている。

注3 either A or B は「A か B かいずれか」という意味だが, A, B の部分にはさまざまな品詞を並べることができる。この文では, cause と make という動詞が並べられている。

注4 according to ~ は「~によれば」という意味で, 情報源を示す場合に用いられる。

注5 この文の主語は the experience で, of から crudely までの部分が主語の修飾部分。述語動詞は affected で, 主語と離れているため注意。

注6 Considering ~ は分詞構文の慣用表現で, 「~を考えれば」という意味。

注7 If S' had V'pp, S would have Vpp は, 過去の事実と反することを仮定する場合に使う形。「もしも S' が V' していたならば, S は V していただろう」という意味。

| | |
|--|---------------------|
| 1 Johannes Brahms is considered / | ヨハネス・ブラームスは見なされています |
| one of the masters / | 巨匠の1人と |
| of classical music. // | クラシック音楽の。 |
| In fact, / | 実際に, |
| he is often said / | 彼はしばしば言われます |
| to be on the same level / | 同じレベルにあると |
| as the other “Three Bs” / | ほかの「三大B」と |
| of the Romantic music period: / | ロマン派音楽時代の, |
| Beethoven and Bach. // | ベートーベンやバッハ(といった)。 |
| He also has a lot in common / | 彼にはまた共通点がたくさんあります |
| with other famous composers / | ほかの有名な作曲家との |
| of classical music: / | クラシック音楽の, |
| he was born / | 彼は生まれました |
| more than 100 years ago, / | 100年以上前に, |
| he was a brilliant piano player, / | 彼は優れたピアノ奏者でした, |
| and he had / | そして彼は持っていました |
| a full head of wildly flowing white hair. // | 無造作に伸びた白髪でふさふさした頭を。 |
| There was, however, one habit / | しかしながら, 1つの性癖がありました |
| that represented his strange personality. // | 彼の風変わりな性格を示す。 |
| He had a chair / | 彼は椅子を持っていました |
| in his apartment / | 自分のアパートに |
| that was designed to fall over / | 倒れてしまうように作られた |

| | |
|---|----------------------|
| when a person sat in it. // | 人がそれに座ると。 |
| He asked / | 彼は依頼しました |
| someone to build him / | 誰かに彼のために作るように |
| this special chair / | この特別な椅子を |
| that would either cause his guests to fall forward on their knees / | 来客を前に転ばせ膝をつかせるか |
| or make them fall backward. // | または彼らを後ろに倒れさせる。 |
| According to his friends and his servant, / | 彼の友人たちや使用人によると、 |
| he would roar with laughter / | 彼は大笑いしていたそうです |
| every time someone got tricked / | 誰かがだまされるたびに |
| by the chair. // | その椅子によって。 |
| 2 You might be wondering / | あなたは不思議に思うかもしれません |
| why someone would want to do such a thing. // | 人がなぜそんなことをしたいと思うのか。 |
| Brahms was a musical genius, / | ブラームスは音楽の天才でした。 |
| but he was not a happy man. // | しかし彼は幸せな人ではありませんでした。 |
| In fact, / | 実際、 |
| he had / | 彼は持ちました |
| an unusual and tragic childhood. // | 普通ではない悲惨な子供時代を。 |
| He grew up / | 彼は育ちました |
| in poverty, / | 貧困の中で、 |
| and he had to start / | そして彼は始めなければなりません |
| playing music / | 音楽を演奏することを |
| in very low-class bars / | 非常に低級な酒場で |
| when he was just 12 years old. // | 彼がたった 12 歳だった時に。 |

| | |
|---------------------------------------|--------------------|
| According to Brahms, / | ブラームスによると、 |
| the experience / | その経験が |
| of being in these bars, / | これらの酒場にいたという、 |
| where people were often drunk / | 人々がしばしば酔う |
| and behaving crudely, / | そして粗野に振る舞う、 |
| affected him deeply / | 彼に大きく影響しました |
| and made him angry and resentful. // | そして彼を短気で怒りっぽくしました。 |
| Considering this, / | このことを考えると、 |
| he probably did not have / | 彼はおそらく持ちませんでした |
| a good role model / | よい手本を |
| in his early life. // | 幼い頃に。 |
| If he had had a decent life, / | もし彼がまともな生活を送っていたら、 |
| he would have found / | 彼は見つけていたでしょう |
| a better way to entertain himself. // | 楽しむためのもっとよい方法を。 |



⇒別冊 p.4 ~ 5

A Classical Music Composer's Peculiar Prank

Johannes Brahms is considered one of the masters of classical music. In fact, he is often said to be on the same level as the other “Three Bs” of the Romantic music period: Beethoven and Bach. He also has a lot in common with other famous composers of classical music: he was born more than 100 years ago, he was a brilliant piano player, and he had a full head of wildly flowing white hair. There was, however, one habit that represented his strange personality. He had a chair in his apartment that was designed to fall over when a person sat in it. He asked someone to build him this special chair that would either cause his guests to fall forward on their knees or make them fall backward. According to his friends and his servant, he would roar with laughter every time someone got tricked by the chair.

You might be wondering why someone would want to do such a thing. Brahms was a musical genius, but he was not a happy man. In fact, he had an unusual and tragic childhood. He grew up in poverty, and he had to start playing music in very low-class bars when he was just 12 years old. According to Brahms, the experience of being in these bars, where people were often drunk and behaving crudely, affected him deeply and made him angry and resentful. Considering this, he probably did not have a good role model in his early life. If he had had a decent life, he would have found a better way to entertain himself.

あるクラシック音楽の作曲家による奇妙ないたずら

ヨハネス・ブラームスは、クラシック音楽の巨匠の1人と見なされています。実のところ、彼はしばしば、ロマン派音楽時代のほかの「三大B」、すなわちベートーベンやバッハに匹敵すると言われます。彼にはまた、ほかの有名なクラシック音楽の作曲家との共通点がたくさんあります。例えば、彼は今から100年以上前に生まれ、優れたピアノ奏者で、そしてその頭は無造作に伸びた白髪でふさふさしていました。しかしながら、彼にはその風変わりな性格を示す1つの性癖がありました。彼は自分のアパートに、人が座ると倒れてしまうように作られた椅子を持っていました。彼は誰かに依頼して、来客が前に倒れて膝をついてしまうか、後ろに倒れてしまうようなこの特別な椅子を作ったのです。彼の友人たちや使用人によると、彼は誰かがこの椅子で一杯食わされるたびに大笑いしていたそうです。

あなたは、人がなぜそんなことをしたいと思うのか不思議に思うかもしれません。ブラームスは音楽の天才でしたが、幸せな人ではありませんでした。実際、彼は普通ではない悲惨な子供時代を送りました。彼は貧困の中で育ち、まだ12歳だった時に非常に低級な酒場で音楽を演奏し始めなければなりませんでした。ブラームスによると、客たちが酔っぱらって粗野に振る舞うことの多い酒場にいた経験が彼に大きく影響し、彼を短気で怒りっぽくしたということです。このことを考えると、おそらく彼には幼い頃によい手本となる人がいなかったのでしょう。もし彼がまともな生活を送っていたら、もっとよい楽しみ方を見つけていたことでしょう。